

対象国の条件：

研修コース番号：(A) 201984472-J002/(B) 201984473-J002

案件番号：(A) 201984472/(B) 201984473

主分野課題：水資源/都市給水

副分野課題：

使用言語：(A) 英語/(B) 英語

案件概要

水道行政担当省庁又は水道事業体の幹部を対象者として、日本の水道行政に関する経験、特に良質な水道サービスを安定的に実施するための制度整備、施設整備、水質管理、無収水管理、人材育成、PI、水道規格に関する経験、今後の動向等を紹介する。特に水道事業体の事業経営面に焦点を当て、このための政策・制度・事業経営の実例に係る講義・討論を行う。

目標/成果	対象組織/人材	
<p>【案件目標】 研修員が自己の組織における水道行政、水道事業経営に関連する重要事項（特に水質管理、無収水対策、経営管理）、今後の課題を整理し、具体的に改善案を策定する。そして帰国後、その改善案が関係部局内で共有、更新され、実際に施行されるようになる。</p> <p>【成果】 (1) 各国の現状を理解する (2) 日本の現状や取組の経緯を理解する (3) 水質管理について整理する (4) 無収水対策について整理する (5) 経営管理について整理する (6) インブルーブメントプランを作成する (7) インブルーブメントプランを更新、施行する</p>	<p>【対象組織】 水道行政担当省庁または水道事業体</p> <p>【対象人材】 (1) 水道行政担当省庁または水道事業体で、水道行政、水道事業経営を担当する幹部職員及び幹部候補生（準高級レベルの研修員が望ましい） (2) 水道管理行政、水道事業経営に係る十分な職務経験を持つ者（10年以上の経験が望ましい） (3) 将来に亘り水道分野で活動を行う予定の者</p>	
<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>【討論】 カントリーレポート発表</p> <p>【討論】 インブルーブメントプラン作成・発表</p> <p>【講義】 日本の水道行政・水道供給の歴史と現状</p> <p>【講義】 東京都水道局の経験</p> <p>【講義・討論】 健全な水道事業経営</p> <p>【講義・討論】 アセットマネジメント、危機管理</p> <p>【講義・討論】 官民連携</p> <p>【視察】 研修・開発センター</p> <p>【講義・討論】 公衆衛生と水道事業</p> <p>【講義・討論】 水質管理、水安全計画、PI</p> <p>【講義・演習】 無収水対策と経営、水質との関わり</p> <p>※なお、本研修では、研修を通じた「知識共創」（Knowledge Co-Creation）の実現を図るために、アクティブラーニングメソッドを導入予定です。</p>	<p>本邦研修期間</p> <p>(A) 2019/6～2019/7 (B) 2019/10～2019/11</p>	<p>担当課題部</p> <p>地球環境部</p>
	<p>所管国内機関</p> <p>(A) JICA東京（経済環境） (B) JICA東京（経済環境）</p>	
	<p>関係省庁</p> <p>厚生労働省</p>	
	<p>実施年度</p> <p>2019～2021</p>	
<p>主要協力機関</p>	<p>(A) 調整中/(B) 調整中</p>	
<p>特記事項及びホームページ</p>	<p>Bコースについては、弊機構国際協力人材部が実施する能力強化研修「水道」コースと合同実施</p>	